

学校の教育目標	生きる力を養う「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」
特別活動の目標	(1)多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 (2)集団や自己の生活、人間関係の課題を見出し、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。 (3)自主的、実践的な集団生活を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。
目指す児童像	○集団の一員としての自覚をもち、進んで活動しようとする子 ○集団の中で互いのよさを認め合い、協力できる子 ○活動を振り返り、それを生かしたり、自己のあり方に気づいたりできる子
特別活動の重点目標	一人一人の児童が互いのよさを認め合い、伸ばしあえるような集団活動を行い、協力して活動する楽しさを味わわせながら、個々の児童に育てたい資質や能力を育成する。

	学級活動	児童会活動	クラブ活動	学校行事
目標	学級や学校での生活をより良くするための課題を見出し、解決するために話し合い、合意形成し、役割を分担して実践したり、学級での話し合いを生かして自己の課題の解決及び将来の生き方を描くために意思決定して実践したりすることに、自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを旨とする。	異年齢の児童同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営することに自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを旨とする。	異年齢の児童同士で協力し、共通の興味・関心を追求する集団活動の計画を立てて運営することに自主的、実践的に取り組むことを通して、個性の伸長を図りながら、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを旨とする。	全校又は学年の児童で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを旨とする。
内容	(1) 学級や学校における生活づくりへの参画 ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決 イ 学級内の組織づくりや役割の自覚 ウ 学校における多様な集団の生活の向上 (2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 ア 基本的な生活習慣の形成 イ よりよい人間関係の形成 ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成 エ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成 (3) 一人一人のキャリア形成と自己実現 ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成 イ 社会参画意識の醸成や働くことの意義の理解 ウ 主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用	学校の全児童をもって組織する児童会において、次の活動を通して、それぞれの活動の意義及び活動を行う上で必要となることについて理解し、主体的に考えて実践できるよう指導する。 (1) 児童会の組織づくりと児童会活動の計画や運営 (代表委員会、各種委員会) (2) 異年齢集団による交流(たてわり班活動) (3) 学校行事への協力 (代表委員会、各種委員会)	主として第4学年以上の同好の児童をもって組織するクラブにおいて、各活動を通して、それぞれの活動の意義及び活動を行う上で必要となることについて理解し、主体的に考えて実践できるよう指導する。 (1) クラブの組織づくりとクラブ活動の計画や運営 (2) クラブを楽しむ活動 (3) クラブの成果の発表	全ての学年において、全校又は学年を単位として、次の各行事において、学校生活に秩序と変化を与え、学校生活の充実と発展に資する体験的な活動を行うことを通して、それぞれの学校行事の意義及び活動を行う上で必要となることについて理解し、主体的に考えて実践できるよう指導する。 (1) 儀式的行事 (2) 文化的行事 (3) 健康安全・体育的行事 (4) 遠足・集団宿泊の行事 (5) 勤労生産・奉仕的行事
各教科・読書科	○各教科等で身に付けた言葉を的確に理解・表現する能力、互いの立場や考えを尊重し、伝え合う能力などを活用し、その能力を向上させる。特に、学級会の仕方などの指導は、国語科の学習内容との関連を図って指導する。 ○「学校図書館の利用」や「心身ともに健康で安全な生活態度の形成」や「食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成」などは、国語科や体育科、家庭科の学習とも関連を図って指導する。	○調査・統計・結果を効果的にまとめたり、説明したりする等の基礎となる能力は算数や理科、社会科などで培う。	○伝統的、文化的、体育的、生産的、奉仕的な活動等から取り上げるテーマは各教科学習と深い関係があるから生かすようにする。	○行事では、日常の学習や経験を総合的に発揮し、発展を図る。特に、各教科では容易に得られない体験的な集団活動を大切にすること。 ○国旗国歌の指導は社会科や音楽科と十分に連携を図る。
他の教育活動との関連	「学級の生活づくり」では「主として人との関わりに関すること」や「主として集団や社会との関わりに関すること」を実践的に学ばせる。「共通事項」では、自らの生活を振り返り、自己の目標を定め、努力することで、道徳性を養う。	児童会の計画や運営、異年齢集団による交流、学校行事への協力等を通して、諸問題を見出し自主的に取り上げ協力して解決していく「参画する態度」に関わる道徳性を身に付ける。	異年齢による望ましい人間関係の形成や個性の伸長、よりよいクラブ活動づくりに参画する態度に関わる道徳性を身に付ける。	集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養う。清掃活動や自然の中での宿泊、文化や芸術に親しむ活動を通して、公徳心、心身の健康、協力、自然愛護等の道徳性を育成する。
外国語活動	友達とのかかわりを大切にしたい体験的なコミュニケーション活動を一層効果的に展開し、「望ましい人間関係の形成」という目標を達成するようにする。	友達とのかかわりを大切にしたい体験的なコミュニケーション活動を一層効果的に展開し、「望ましい人間関係の形成」という目標を達成するようにする。	友達とのかかわりを大切にしたい体験的なコミュニケーション活動を一層効果的に展開し、「望ましい人間関係の形成」という目標を達成するようにする。	友達とのかかわりを大切にしたい体験的なコミュニケーション活動を一層効果的に展開し「望ましい人間関係の形成」という目標を達成するようにする。
総合的な学習の時間	特別活動で身に付けた自主的で実践的な態度を、総合的な学習の時間のよりよく問題を解決する資質や能力の育成の基盤とする。	特別活動で身に付けた自主的で実践的な態度を、総合的な学習の時間のよりよく問題を解決する資質や能力の育成の基盤とする。	特別活動で身に付けた自主的で実践的な態度を、総合的な学習の時間のよりよく問題を解決する資質や能力の育成の基盤とする。	「総合的な学習の時間における学習活動」が学校行事の目標を達成し、得たい成果と同等のものを得られる場合には、改めてこれらの体験活動を行わないことができる。
家庭や地域との連携	楽しく豊かな学級や学校の生活づくりや健全な生活態度を育成する活動を効果的にするために、個々の家庭の状況に配慮したり、家庭との連携を図ったり、地域の人材を活用したりする。また、基本的な生活習慣の形成、心身ともに健康で安全な生活態度の形成、食育の観点を踏まえた望ましい食習慣の形成などの事項は、家庭での指導と連携を図り効果的な指導をする。	児童会活動における楽しく豊かな活動を効果的に行うために、家庭や地域の協力を得る。	児童の興味・関心を基本としながら、外部講師や地域の教育力を活用していきたい。	文化的行事や健康安全・体育的行事などにおいて、地域社会の人々が参観しやすいように、期日などを考慮する。学校行事を通して、学校の教育について積極的に地域の人々に理解を得る。
備考		定着してきたこれまでの活動を生かし、よりよく発展させていく年にする。	クラブ発表を、展示、ビデオ放送、実演などの形で行う。	